

水防・砂防システム

千葉県と高知県は、昨年度に成立した「南海トラフ・首都直下地震対策特別措置法」と「国土強靱化基本法」を受けて、自然災害への緊急対策に乗り出した。日本電気(株)では、そのための水防・砂防システムを構築し、両県の防災・減災に貢献した。

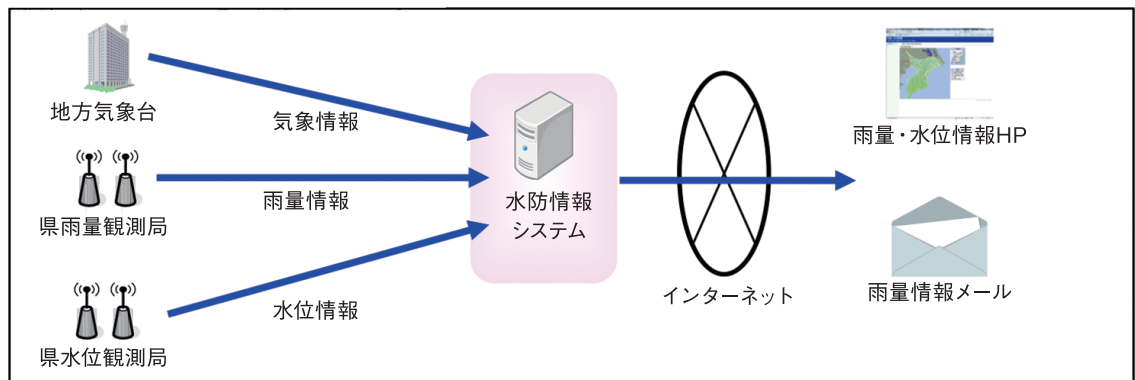
背景

千葉県・高知県ともに地震対策特別地域市町村が数多くあり、かねてより地震対策には力を入れてきた。だが、昨今多発する台風や局地的豪雨は、想定外の地すべりや河川氾濫を招き、自然災害対策のさらなる充実が急務となっていた。

概要

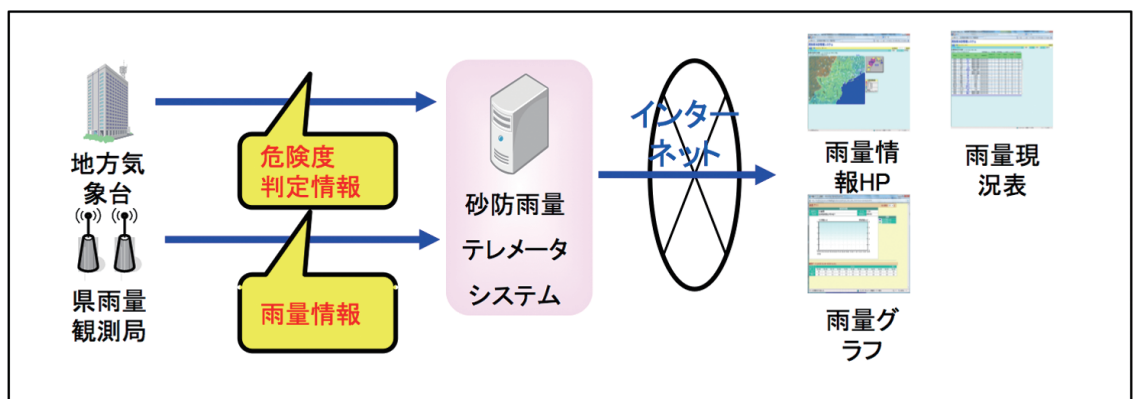
<水防情報システム>

県雨量と水位テレメーターからの雨量・水位情報を集約して、県ホームページ・雨量情報メールで県民に情報提供するシステムを提供。



<砂防雨量テレメーターシステム>

雨量観測局からのデータを収集サーバーに蓄積。そのデータ解析を行うと共に、気象台との連携によって土砂災害の危険度を判定。結果を公開するシステムを提供。



アピールポイント

- 災害時に県民の自助・共助をサポートし、経験則からの判断材料を県民に提供し、減災効果を上げた。
- 災害発生の危険度判定を収集データと専門家の判断を結集して防災・減災に役立った。